

昨年岡山支部からバトンを受け継いだ茨城支部による「第 67 回全国幼児教育研究大会茨城大会」が無事に終わりました。この三日間の大会に三年の歳月を掛けて準備をしてくださった福田運営委員長様、運営委員会のみな様をはじめ、茨城県並びに茨城県教育委員会、水戸市並びに水戸市教育委員会等関係諸機関のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

水戸黄門御一行に出迎えを受けた水戸の町は来週土曜開催予定の黄門祭りの準備中でしたが、私には黄門様が全幼研の応援をしてくださっているように感じました。

西日本を襲った自然災害の直ぐあとでもあり、参加者の足の便が心配でしたが、みな様、万難を排して対応されたようで：ほとんど欠席もなく、免許更新講習から全体会、分科会と開催することができました。

酷暑の中にもかかわらず、どの講習、講演や提案も新しい教育・保育に対応した内容で参加者の情熱が感じられました。

全私連のキャリアアップ研修にも対応しており、大会の終わりにはスタンプカードを受け取る方々が大勢いらして、全私連とのつながりも定着してきたように思います。また、今回は青少年育成機構からも「自然まるわかりハンドブック」の提供があり、全幼研も関係諸機関とのつながりが広がってきました。

茨城大会の成果を始めとして運営のノウハウが、次の岐阜支部にバトンタッチされました。全幼研のドラマは「ひよっこ」から「半分、青い」の岐阜へ確実につながりました。みな様、来年は金ぴかの信長公に迎えられ長良川の水面をともに眺めましょう！

最後になりましたが、参加者、大会に関係されたみな様に御礼を申し上げます。感謝！



理事長 福井直美